令和４年度事業報告書

１．業績の概況

令和４年度は、第４次中長期計画のスタートの年でしたが、長引く新型コロナウィルス感染症の状況を注視しながらの事業展開になりました。感染拡大の波はあったものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出は無く、「シルバーの日」のボランティア清掃や接遇研修を行うなど、シルバー人材センターとしての日常をようやく取り戻すことができた１年でした。

こうした中、令和４年度の事業実績においては回復の兆しが見え、請負・委任と派遣を合わせた契約金額は、４億２，０００万円で前年度比１０３．７％となり、第４次中長期計画の初年度の目標を達成することができました。なお、安全・適正就業の徹底や安全パトロール実施、交通安全講習会を実施し、事故防止に努めました。

さて、高齢化社会と言われて久しいですが、総務省統計局が発表した２０２２年９月の統計では、日本の総人口に占める６５歳以上の割合は２９．１％と過去最高であり、世界で最も高い割合となっています。また、高年齢者の就業者数は１８年連続で増加し、過去最多とのことです。この統計から読み取れるのは、人手不足の分野を支える担い手として、知識と経験の豊富な高年齢者の活躍が不可欠であり、高年齢者への就業機会を提供できるシルバー人材センターの役割は、今後、ますます重要になってくると考えられます。

昨今の原油高による物価の上昇や本年の１０月から施行されるインボイス制度など、シルバー人材センターが乗り越えなくてはならない課題が多いですが、このような情勢だからこそ役職員が一丸となり、会員相互の連携を深め、各々の能力を活かした事業を展開し、地域に寄り添ったセンターであり続けることが私たちシルバー人材センターの使命と考えます。

以下、令和４年度の事業実績を報告いたします。

（1）当期の主な事業実績

① 会 員 数　（正 会 員）　８３５人

＊前年度　848名、前年対比　98.5%

【中長期計画目標指数900人　（達成率92.8%）】

② 契約金額　（請負・委任）　３６１，８６０千円

＊前年度　348,388千円、前年対比　103.9%

【中長期計画目標指数353,000千円　（達成率102.5%）】

（ 派 遣 ）　５８，７８４千円

＊前年度　57,270千円、前年対比　102.6%

【中長期計画目標指数57,000千円　（達成率103.1%）】

（請負・委任、派遣合計）　４２０，６４４千円

＊前年度　405,658千円、前年対比　103.7%

③ 契約割合　（請負・委任、派遣合計）　公共事業　２１．２%、民間事業　７８．８%

＊前年度　公共事業　19.2%、民間事業　80.8%

④ 受注件数　（請負・委任、派遣合計）　６，５６８件

＊前年度　6,448件

⑤ 配分金額　（請負・委任、派遣合計）　３４３，５７４千円

就業会員１人当たりの月平均金額３８，９０１円

＊前年度　345,675千円、前年対比　99.4%
＊前年度就業会員１人当たりの月平均金額　38,614円

⑥　就　業　率　(請負・委任、派遣合計)　８８．１%
＊前年度　88.0%
【中長期計画目標指数90.0%】

⑦　就業実人員　(請負・委任、派遣合計)　７３６人
＊前年度　746人

（２）会員数拡大に向けた取り組み

①　会員１人１入会運動の実施

報奨金制度を導入した「会員１人１入会運動」により新規入会者を取り込みました。

・会員１人１入会運動による新規入会者数：１０人

②　会員募集チラシの公共施設への掲示

太田市内の公共施設に会員募集チラシを掲示しました。

・行政センター等２２施設

③　行政センターだよりへの記事掲載

行政センターが発行する「行政センターだより」に会員募集記事等を掲載しました。

・太田市内１３行政センター

④　新聞折込の実施

上毛新聞ほか主要新聞の朝刊へ「カレンダー付会員募集チラシ」の新聞折込を実施しました。

・実施日：令和４年１２月１１日

・配達地域と部数：太田市全域　２０，０００部

⑤　説明会参加者へのアンケート調査

説明会参加者に参加経緯を調査し、運営・広報改善に利用しました。

（３）就業機会拡大に向けた取り組み

スマートフォンや携帯電話を利用したＳＭＳ（ショートメッセージサービス）を活用し、タイムリーな求人情報を会員へ提供しました。

（４）安全就業と適正就業に向けた取り組み

①　安全・適正就業委員による巡回指導等

作業現場の「安全パトロール（巡回指導）」と、事故検証・防止策について協議する「安全委員会」を実施しました。

・安全パトロール：１０回

・安全委員会：１３回

②　「安全就業だより」の発行と「安全標語」の募集

「安全就業だより」を発行することで会員へ安全対策の取り組みや事故状況を提供し、さらに安全標語を募集して優秀作品を表彰する安全標語コンクールを実施することで安全就業意識を高めました。

・安全就業だより：年４回発行（７月、９月、１月、３月）

・安全標語最優秀賞：福田稔会員
「ヒヤッとした　それを活かせ　身を守る！」
※安全標語応募数：６４作品
新規入会者には「安全就業ハンドブック」で安全に対する意識付けを行いました。
・安全就業ハンドブック：新入会員１１１人（冊）へ配付

③　交通安全講習会の実施

全国的に高齢ドライバーによる事故が多発していることから、太田市交通安全専門員へ依頼し、会員向けの「交通安全講習会」を実施しました。
・交通安全講習会：令和４年８月２６日　宝泉行政センターにて　４５人参加

④　安全就業講習会の実施

事故が多発していることから、県シルバー連合安全指導員を講師に迎え、「安全就業講習会」を実施しました。
・安全就業講習会：令和５年３月１５日　宝泉行政センターにて　６２人参加

⑤　適正就業ガイドラインに沿った業務運営

厚生労働省と全国シルバー人材センター事業協会がまとめた「適正就業ガイドライン」を会員と発注者へ配付し、適正な受注と就業を周知徹底しました。

（５）普及啓発・社会参加活動の取り組み

①　会報なかまの発行

会報編集委員会の委員が中心となって「会報なかま」を編集・発行し、市内公共施設２２箇所へ設置依頼し、センターの活動内容を周知しました。
・会報なかま：年４回発行（７月、９月、１月、３月）

②　シルバーだよりの発行

広報おおた特集記事「シルバーだより」を制作し、センターの普及啓発を実施しました。
・シルバーだより：発行日　令和４年１０月１日　７８，０００部

③　広報おおたの活用

アンケート結果から「広報おおた」の利活用が最も有効であったことから、センターの情報提供を行い、市民への普及啓発を図りました。
・掲載：２月１５日号（植木・除草作業（令和５年度）の予約受付開始）

④　太田コミュニティＦＭ放送局エフエム太郎の活用

エフエム太郎へ人材募集のスポットＣＭ（２０秒）の放送委託をしました。
・放送：令和４年１２月１日から令和５年３月３１日まで　合計３４回放送

⑤　ホームページの公開

インターネットによる情報発信は広報活動の主流であることから、センターホームページの内容を積極的に更新しました。
・年間アクセス数：３７，６５５件

⑥　ツイッターの公開

広報部会を中心にホームページを補完する情報発信手段を検討し、国内で最も利用されているＳＮＳである「ツイッター(Twitter)」によるセンター公式アカウントを開設し、センターにおけるタイムリーな事業活動を公開しました。

⑦　社会貢献活動の実施

普及啓発促進月間の活動で「シルバーの日（１０月第３土曜日）」の清掃ボランテ

ィアを実施し、宣伝用ポケットティッシュを配布しました。
実施日：１０月１５日（土）　太田駅南口周辺　参加者　７１人
新田庁舎周辺　　参加者　４０人

⑧　リーフレット、ポケットティッシュ等の配布

広報部会と編集委員会がショッピングモールやイベント等に参加して普及啓発活動を実施しておりましたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止としました。

⑨　太田市高齢者支援サービス事業「ちょいとサポート事業」の受託

社会参加活動として、高年齢者世帯の生活の充実と日常のちょっとした困りごとを解決する「ちょいとサポート事業（ちょいサポ）」を太田市から受託しました。

・受託件数：２，１７４件（目標数２，１６０件）
・ちょいサポ隊会員数：９０人

⑩　太田市ごみ出し困難高齢者支援事業の受託

ごみ出しをすることが困難なひとり暮らし高齢者に対し、安否確認を行いながら、ごみを戸別回収する事業を太田市から受託しました。

・受託件数：１，０７９件
・就業会員：２４人

（６）会員の技能及び資質の向上に向けた取り組み

①　講習会の実施

会員の様々な見識を深めるために講習会を実施しました。

・シニアのｅスポーツ講座
実施日：令和４年１２月８日　　会場：新田勤労会館　　参加者数：５人

②　接遇講習会の実施

主に窓口・受付業務で就業をしている会員を対象に「マナー向上」と「学び直し」を目的とした講習会を実施しました。

・接遇講習会
講師：業者委託
実施日：令和４年１２月１４日　　会場：宝泉行政センター　参加者数：５１人

（７）組織運営体制の強化に向けた取り組み

①　専門部会（総務部会、事業部会、広報部会）の活動

専門部会は、役員で構成された３部会各々が委員会を開催してセンターの運営について協議するものですが、本年度も新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、それぞれ委員会を１回開いたのみとなり、満足な活動ができませんでした。

②　厚生会との連携

連携強化のため職員が厚生会主催各種イベントに参加して交流を深めておりましたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、グラウンドゴルフ大会とボウリング大会の開催に留まり、交流推進が十分にできませんでした。